

★ まちづくり ★ ニュース

★ ホームページ

<https://tokiwadai.net/>

285号

★ 2026年1月31日

常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

— 都心低空飛行問題について —

○ 軍民共用する飛行場 沖縄→熊本→?

民間の飛行場を自衛隊や米軍が自由に使えるように変わりつつあるそうです。

沖縄は米軍基地の多いことでさもありなんとおもいますが、熊本では商店の人達が軍用機の使用はいざという時に攻撃の対象となるとして反対運動を起こしたにも拘わらず実施されてしまったとのこと。

超右翼的高市政権の元では熊本の次ぎを心配してしまうのはもっともなことでしょう。まして東京上空を頻繁に通過するこの新ルートに、軍用機が離着陸するようになるのはごめんです。

○ 衆議院選挙と推薦候補者

「羽田問題を考える会」は議員連盟に属したり、都心上空の新ルート撤回の公約をする候補者を応援する予定です。裏金問題や統一教会の問題も忘れてはならないし、目前の問題はやはり物価高をどうするかでしょう。

○ 千葉県の騒音を分担できるのか

海から入り海に出て行く、という従来の航路を変更して、この人口密集地の都心の真上を飛ばすと言う新航空路を正当化するために国交省が言い訳にしているのが、千葉県民が受けている航空騒音の軽減・分担です。

しかし、千葉県でと都心とでは高さがまるで違います。また騒音というものは分担できるのではなく都心上空に新たな騒音を創出しただけという論理に国交省は返答できないでいます。

○ 読売新聞オンライン「猫学」

1月24日(土)読売新聞のオンラインの“猫学”(通称ニャンコロジー)の記者が常盤台の猫について取材に来ました。TNR活動の成果なのか、最近では野良ネコの姿がめっきり減っているという噂です。

Kさんが一匹保護して家猫として可愛がっていると聞き、その経緯を取材して行きました。2月下旬放送ということでした。

○ アンケート調査2種類

新年早々、アンケートが2種類も入ってきました。アンケートはよほど注意しないと公正な設問にならないものです。

* 「旧中央図書館跡地施設整備に関するアンケート調査」

2月15日までの回答をお願いしているものです。担当は土木部・公園整備担当課・政策企画課など 住民の希望については?

* 「まちづくり協議会」が行ったアンケート

町会長・商店会長中心に構成されている「まちづくり協議会」のアンケートは1月5日から配布され、21日締め切り、27日常盤台地域センターで説明会がありました。

QRコードからの回答46、解答用紙でのもの10、合計56が回答数だそうです。何という低さ!他の説明会でも参加者がたったの3人ということもありました。

この数字が表しているのは板橋区民の意識の低さというだけではないと思います。区民は何を言ってもムダという諦めを持ってしまっているようです。今まで様々な場面でこのような無力感が積み重なって来たのかも知れません。

お店紹介(4)

「ナラ」

理容室「ナラ」さんは昭和二十七年にお父さんが開店して以来のお店です。当主の新井さん(ナラは先代からの屋号)は三十年生まれの未だし、線路際にあった小田産婦人科で生まれました。なんと帝都幼稚園↓常盤台小学校↓上板橋第一中学校という常盤台住民の定番コースを辿り、小学校では公園に作られたプールに入った時代でした。

家業を継ぐのはその時代ではごく当たり前で、何の抵抗もなかったそうです。

男性の髪の手入れは、気に入った理容室があればずっとそこに通うようです。常盤台のお客には上品な方が多くトラブルなど全くないようですが、余り近所でも私生活を知られたくない理由なのか遠くの店に行ったり、逆に遠くからの常連がいたりするそうです。

跡継ぎはお孫さんに美容・理容、両方の修業をしている方がいるそうですが、どうなるかは不明。山岳会の会員で山歩きが趣味なのでいたって健康、ウチの大黒柱と持ち上げる奥さんとふたりで、お客さんと会話を楽しみながらのんびりと営業しており、最近はず・火を定休日としています。

この業界もコロナや老化などで店じまいが増え、北口で永年続いている理容室はナラさんだけになってしまいました。三井住友銀行の斜め向かいでご夫婦仲よくハサミを使い続けてほしいものです。

先住民アイヌMIP回復のための

「チャランケ」 アイヌモシリの会

右のような本が出版されました。

Mとは大地の意味のモシリ、Iとは言葉の意味のイタク、Pは風習という意味のプリを合わせたもの、チャランケとは談判・話し合いという意味です。

外国人の受け容れに歴史的にも後ろ向きだった日本ですが、決して単一民族国家ではなく、この国土には先住民としてアイヌ人がいました。なかなかその事実を認められなかったように、アイヌを先住民として公式文書に記したのは、なんとつい最近二〇一九年でした。

武士は朝廷から征夷大將軍の称号を与えられました。北へ北へと追い詰めていった歴史がこの本でもよくわかります。Ark出版です。

板橋シニアアンサンブル

2月9日発足 団員募集中

原則として満50歳以上というアンサンブルが出来つつあります。

板橋区役所前の板橋地域センター音楽室で月曜日13時30分~15時30分

入会金1,000円 月2,000円

問合せ・申込先 090-4431-0301(黒須)

黒須さんは常盤台小学校3期生で南常盤台に住んでいらつしやいました。バイオリン・フルート・サクソ・ピアノ等々、初心者歓迎で、皆で音楽を楽しみましょうと言う趣旨、若い人もいずればシニアなのでいかがでしょうか?

常盤台公園のはなづくり

仮に広場の方に植えたチューリップがほんのちよつと芽を出したのが一月二〇日ごろでした。大寒で最長の寒波が来ると言う時です。健気ですね。

公園のサクラが一本、根元から切られました。チエーンソーの音がサクラの悲鳴のように聞こえます。切り分けられた幹がトラックに積まれていきます。

そこでTさんの奥さんの言葉を思い出しました。散歩をしたいのに腰掛けて休む所がない、と。最近でもKさんが同じ悩みを言っていました。プロムナードの並木の中に切り株を工夫してベンチを作ってはどうかでしょう。車の邪魔にならず、並木道は住民の車が大半ですし、と思い、土木課を通して要望を南部土木サービスタワーに電話で要望しておきました。下北沢の線路街では至るところにベンチがあるので参考にして欲しいと思うのですが…。

広場の方まで地質調査をしていたことから、何かイベントのようなことを始めるのではないかと心配している人がいます。この公園で賑やかなイベントを企画して、屋台のようなものを連ねて客足を見込んで、一時限りで持続しないでしょう。常盤台は静かな住宅地で保っているのですから。

